

「総代」ってなあに？ あなたの声を聞かせて

東都生協は組合員の声で運営されているって、ご存知でしたか？「こんな商品があったらいいな〜」「このサービス、もっとこうならいいのにな〜」という組合員の声を集めて運営方針を決める「総代会」が年に1回開催されているんです。もっとあなたにフィットする東都生協へ！あなたの声を反映させるための仕組みと総代の役割を紹介します。

総代会議ってどんな感じ？

会議の前に送られてくる資料「総代通信」を基に事業や活動が方針に沿って進められているかどうかを確認し、思いや意見を出し合う場です。



総代会議全体質疑の様子

●全体会ではちょっと言えない…というあなたも〜少人数で話しやすい分散会
全体質疑の後、4〜6人くらいの総代と役員、地域コーディネーターなどが同席して分散会で意見交換。組合員理事の進行で、総代同士自己紹介をしてリラックスしてから、1時間程度、疑問や意見を役員がじっくり聞いて説明します。会場で初対面でも、同じ商品を購入しているという共通点から話が弾み、総代同士、情報交換で盛り上がることもしばしばです。



総代と役員との距離がググッと近づく分散会

●会場出席が難しい場合は？

- ・オンラインで自宅から出席することもできます。
- ・ホームページから動画を視聴したり「総代通信」を読んで、意見(声カード)を送ることができます(希望する総代にはDVDも送られます)。



オンライン開催



⚠ 東都生協の組合員なら誰でも総代に立候補できます(2024年7月20日以前に在籍していることが条件)。特別な知識や経験がなくてもOKです。ただし、組合員本人以外(同居の家族など)は総代にはなれません。

総代でなくても声を出せるの？



●ひとこえ生協

商品などについて声(意見)を紙に書いて注文書と一緒に提出する「ひとこえ生協」の仕組みがあります。ホームページ右上のひとこえ生協からも投稿できます。(https://www.tohto-coop.or.jp/hitokoe/)



「ひとこえ生協」は、商品案内「Sanbonsugi」毎月4回 p.2に掲載されています

組合員なら誰でもOK！
声を出せる仕組みがあるよ



😊 ホームページからはここをクリック！

●わたしの声カード(アンケート)

6月の通常総代会に向けた「私たちの東都生協(第1次議案書)」が2月上旬に全組合員に配付されます。わたしの声カード(アンケート)に記入して3月上旬の締め切りまでに注文書と一緒に提出、またはインターネットのフォームでも入力・送信できます。次回はあなたの声をぜひ届けてください。お待ちしております。



特典はあるの？

1 総代優先の産地・交流訪問企画があります

大人気の産地・交流訪問も総代が優先的に参加できる企画があります。「Tohto Fan Meeting」第2弾は、6月15日にJAやさと・朝日里山学校(茨城県石岡市)を訪問し、生産者との交流と収穫体験、ピザとじゃがバター作り体験を行いました。



ピザづくり



収穫体験

2 総代優先の商品学習会に参加できます

魅力的な総代活動にするとともに、多くの組合員に総代を知ってもらう機会として「Tohto Fan Meeting」を開催しています。2023年度は「知って納得!わたしのこだわり(東都生協プライベートブランド)オンライン学習&おしゃべり広場」として総代優先の商品学習会を開催。「東都玉締めしぼり胡麻油」と総代オリエンテーション試食品「東都米酢」のこだわり製法を東都生協商品部職員が講師となって解説。後半はグループに分かれて総代と総代でない組合員の参加者でおしゃべり交流会をしました。



東都玉締めしぼり胡麻油

東都米酢

3 2023年度の試食品



東都みそ

東都ストレートつゆ

東都国産小麦使用ホットケーキミックス

試食品についてアンケートを提出します

総代オリエンテーション、第1回〜第3回総代会議の開催前に計4回、試食品が供給時に配付されます。試食品の資料を読み、動画によるメーカー担当者のメッセージを視聴。アンケートを提出します。

毎月届く
組合員活動情報誌
「Yui」、広報物、
ホームページ
などに目を通します



総代会って？

組合員の代表として「総代」が出席し、東都生協の基本方針を決定する最高決議機関です。議決権は出資金額に関わらず1人1票です。「総代」は年に3回の総代会議に出席し、事業と活動について声を出します。

なんだか楽しそう!

総代の年間活動スケジュール

どうやって総代になるの？
現在、各地域委員会主催の企画時や地域版「ワオ」でご案内しています。8月12日から配付の左記選挙公示で選挙区を確認し、事務局に「立候補用紙」の請求をすることもできます。

8月中旬 「総代選挙公示」発行

9月上旬 立候補用紙提出締め切り

10月上旬、総代確定 「総代当選公示」発行

10〜11月 「総代のでびき」配付

●総代オリエンテーション

9つの地域ごとに、または、9つの地域を3組に分けて総代の年間スケジュール、役割の説明を受けます。

総代同士の交流や担当理事、地域委員会メンバーとつながります。

11月下旬 第1回総代会議

「総代通信」No.2 配付

今年度の活動の中間報告と次年度の方針作成(第1次議案書作成)のため、組合員としての思いや意見を出し合います。

「総代通信」No.3 (第2次議案書) 配付

2月に「私たちの東都生協(第1次議案書)」を全組合員に配付

3月下旬 第2回総代会議

第2次議案書を基に次年度方針作成に向けて質問や意見を出し合います。

4月に「私たちの願い」として「私たちの東都生協(第1次議案書)」の「わたしの声カード」に寄せられた声を全組合員に配付

6月上旬 「総代通信」No.4 配付

第3回総代会議

通常総代会への提案議案の内容説明と議案に対する質疑応答の機会。さらに通常総代会に向けた各種手続きの説明を受けます。

「通常総代会議案書」配付

「総代通信」No.5 配付

6月中旬 通常総代会

「総代通信」No.6 配付

9月末ごろ 任期終了

※2023年度のスケジュールです。2024年度は若干変更する場合があります

誰もが安心して暮らせる社会のために /

未来につなぐ募金

東都生協では、誰もが健康で安心して暮らし続けることのできる地域社会の実現を目指す活動(団体)を応援、助成を行っています。組合員一人ひとりの思いを寄せ合い集めた募金を、東都生協の商品に換えて応援する仕組みです。毎号、助成団体を紹介しています。



コンテナの中身

団体名 NPOさくら彩

設立 2020年10月 ボランティアの受け入れ あり
 代表者 石川 正美さん 広報ツール ホームページ、SNS、チラシ、足立区広報紙
 活動拠点 足立区北東エリア
 活動内容 フードパントリー、おやこ食堂、宅配弁当配布、オレンジサロン
 メンバー 地域住民(民生委員、児童委員、町会委員)、教育関係者、地域包括センター関係者

助成団体紹介 Vol. 12

地域密着！世代を超えてお互いに思いやり 助け合いながら生活する社会へ

未来につなぐ募金の助成を受けているパントリー事業は毎月第4火曜日午後4時～6時に足立区佐野の用水さくら通り沿いの奉優の家1階のコミュニティプラザで実施されています。対象はひとり親などの子育て世帯や独居高齢者など。あらかじめ条件をクリアして予約が必要です。

取材当日は、午後4時の開始前から激しい雨の中、配布を待つ人の列ができていて、いかに頼りにされているかを目の当たりにしました。115世帯分のコンテナボックスが並べられ、ボランティアの皆さんがテキパキと物資を配分していました。コンテナは属性により色が分けられ、さらに家族構成を書いたシールが貼られ、配布数・内容が調整されています。

配布が始まると、スタッフが調子を聞いたりして会話をしながら品物を渡していきます。当日取りに来られない方のために見守りを兼ねて、物資のデリバリーも行っているとのことでした。それぞれの家庭の事情を分かっているというのも大きな安心感になっていると感じました。

また「自立のための支援になるように」との思いから、地域の他の団体と横の連携を密にして、マッチングにつなげることもあるそうです。今夏に運営が始まる足立センターでの「居場所づくりプロジェクト」に参加し、組合員や子ども支援団体と共に東都生協の取り組みとなる活動に協働しています。「こちらのサポートで助かりました」「がんばれました」と書かれた感謝のお手紙の掲示もあり、地域を元気にしていこうという活動の成果が伝わりました。



団体名 NPO法人カモミール

設立 2021年5月 メンバー 理事6人、監事1人、ボランティア約40人
 代表者 田中 貴子さん ボランティアの受け入れ あり
 活動拠点 小平市 広報ツール Facebook、TOKYO854くらめら(コミュニティFM)、市内に貼られているポスター
 活動内容 移動式子ども食堂 (第1・3水曜日)、フードパントリー

助成団体紹介 Vol. 13

栄養バランスと完全手作りにこだわった移動式子ども食堂

代表の田中貴子さんは23年間学校給食の調理師を務めてきた経験から、100～150食分のお弁当とデザートを完全手作りで、平均15人のボランティアスタッフと3時間弱で手際よく作成します。田中さんが退職後の2021年から、「移動式子ども食堂」を始めたのは、学校給食の現場で感じた「子どもの貧困」がコロナ禍によって急増している危機感から。調理する会場とは別に必要とする人に食事を提供する会場を移動して、毎月第1・第3水曜日に開催しています。調理ボランティアのミーティングでは、衛生管理研修と同時に献立のアイデアを出し合い、メンバーの自主性を尊重しながら調理を楽しむことで持続可能な活動を目指しています。

外出をためらうような春の嵐の中、小平市の都営アパート集会所前には、親子連れをはじめとするおよそ30組がお弁当を受け取りに並んで待っていました。連絡先記入用紙を配布しながら、ちょっとした世間話から健康状態や暮らしぶりを気遣います。

カモミールの花言葉は「逆境で生まれる力」。物価高が家計を直撃する中で、孤食になりがちな子どもたちへ忙しい保護者に代わって栄養バランスを考えた家庭的な食事を届けることで、人と人、地域をつないでいます。



卒業シーズンに赤飯、厚揚げのステーキ、コーンのかき揚げ、小松菜と春雨のポン酢和え、いちごの桜餅。



ヘアキャップ、マスク、手袋着用で、食中毒や異物混入を防止

第50回 通常総代会

6月13日、ハイアットリージェンシー東京(新宿)にて第50回通常総代会が開催されました。

7&8月号特集 ～「総代」ってなに？

(採決結果速報はP11インフォメーションにて)

議長団



議事進行をする議長団



総代総数542人中180人の総代会が会場に出席しました

発言者



持続可能な組織づくり、気候変動対策、組合員活動への参加などについて発言をする総代



総代からの意見・思いについて説明する野地専務理事

総代インタビュー

- 1 総代になりませんかと声を掛けられて、最初に思ったことは？
- 2 総代に立候補してみようと思った理由は？
- 3 総代をやってみて良かったことはありますか？



牛乳のおいしさは東都生協と酪農家の歴史を知って納得しました

interview

総代歴4年 平井 雅子さん(清瀬市)

- 1 5年前供給センターの方から「総代やりませんか」と言われて、「他にどうしてもいなければ…」ということで、1回は断りました。生協の仕組みをよく理解していない私に務まるのだろうか…。
- 2 翌年もう一度お声を掛けていただき「これはもう断れないな」と思い、お引き受けしました。
- 3 八千代牛乳のおいしさに惹かれて加入したのですが、資料をひたすら読んで、東都生協の成り立ちの歴史を知り、なるほどな～と納得しました。転居が多く、いろいろな生協を利用してきましたが、メーカーとの関わりでできた商品、生産者とのつながりを大事にしていることが分かって、市販のものや他生協との違い、東都生協のこだわりをより深く知ることができました。組合員同士のおしゃべりからいろいろ気づくことが多いのも東都生協の魅力ですね。

- 1 加入年数も短く、総代の役割さえ把握できていない私に務まるのだろうかと不安でした。
- 2 声を掛けてくれた職員の方の厚意に答えたい思いと、元々食育、添加物、日本の農業に興味を持っており総代の役割を通じて、さらに学びを深め、お役に立ちたいと思ったからです。
- 3 総代オリエンテーションに出席した際、他の総代の皆さんの目的意識が高く刺激を受け、また学びも多く大変有意義に感じました。試食品アンケートでは、生産者の思い、取り組み、工夫を知る機会となって商品の見方も変化し、「食」について考える機会となっています。総代を通じ、改めて食や日本の農業、自給率を考える機会が多く、引き受けて良かったと感じています。

interview

2 食と農を考える機会と なっています

2023年度 新総代 戸川 恵さん(横浜市)



生協ならではの組合員の声を反映する仕組みと総代の役割について理解が深まったでしょうか。仕事や家庭のことなどで忙しくても、総代が組合員の代表として、総代会議案にしろの願いを反映させられること、出席方法もいろいろあること

をご紹介します。あなたのつぶやきはみんなの願いかも。総代立候補の呼び掛けは既に始まっています。「総代になりませんか」と声を掛けられたら…ぜひ、前向きにご検討いただけるとうれしいです。